

水の事故 危険はいつも すぐそこに

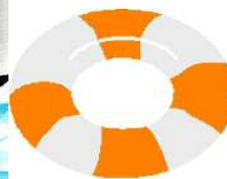


令和6年中、愛知県内で起きた水の事故は53件（事故者数60人）で、そのうち29人（事故者数の約48%・場所別では河川が一番多く48%）の方が亡くなっています。

特に7月・8月の夏休み期間中の水の事故は15件発生していますので、特に注意してください！



CAUTION



水難事故を防ぐために!

遊泳・立入禁止区域に入らない

- 付近の環境、地形等をよく把握し、遊泳禁止区域・立入禁止区域ではないか確認しましょう。
- 怪我を負う水の事故は、18歳以上が当事者となるケースが多く発生しています。

飲酒しての遊泳はやめよう

- 特に夏季期間中は、飲酒が原因と思われる事故が多く発生しています。
- 複数人ではいる場合は、周りの人が制止、注意して入水を防ぎましょう。



子どもだけで泳がせない

- 水の事故は、親が目を離れたその一瞬から発生します。あらかじめ、ライフジャケットを着用させましょう!
- 泳げても浮き輪を持って出かけましょう。
- 海や川へ子どもだけで行かないよう、日頃から親子で話しておきましょう。

事故が起きてしまったら

- 大声で、近くの人に助けを求めましょう。
- 岸から浮き輪、ロープ、ペットボトル等を使って救助するほか、水の中に入って救助する場合は、二重事故に注意しましょう。
- 警察（110番）、救急隊（119番）に早く知らせましょう。